

平成30年度「ふくしまの未来をひらく読書のカプロジェクト」
読書活動支援者育成事業

第2回 会津地区研修会

会津教育事務所

- 目的：地域で子ども読書活動を推進するボランティアの資質向上を図り、学校図書館の支援もできる人材を育成する。
- 日時：平成30年9月5日（水）10：50～16：00
- 場所：会津大学 中講義室
- 参加者：89名

分科会A 【読み聞かせボランティア】 実践発表 童話作家 前田 智子 氏

- ①読み聞かせ活動について
 - ・読み聞かせボランティア「ピッキオ」について
 - ・県立聴覚支援学校会津校での聴覚障がい児へ読み聞かせについて
幼稚園、小学部を中心に
- ②大熊幼稚園との交流について
 - ・図書ボランティアを通じた交流について
 - ・震災後の支援の様子
- ③飯野和好先生との出会い
- ④創作童話「こたろうちゃんが待っていたものは？」の読み聞かせ
 - ・いつもは読み手の参加者が聞き手となりお話の魅力を体験
 - ・子どもの立場でわくわく感を実感



分科会B 【学校司書・図書館司書等】 実践発表 元県立高校学校司書 長崎 キヨ子 氏

- ①学校図書館の目的、役割
 - 「学校の教育課程の展開に寄与する」
 - 「児童又は生徒の健全な教養を育成する」
 - 学習センター機能 情報センター機能 読書センター機能
- ②資料の整理
 - ・除籍・廃棄について
データが古い 活字のデザインが古い 本自体が古い
 - ・各学年、フロアにある書籍も図書館で管理
- ③館内の整備
 - ・本の魅力が伝わる空間づくり
 - ・利用者目線で見直す館内レイアウト ・コーナーづくり
- ④周囲の人との協力
 - ・学校図書館ボランティア ・ネットワーク（学校外とのつながり）
- ⑤学校図書館チェックリストの活用



【 講話・演習 】

「子どもたちを本の世界へいざなうために
—学校図書館での取り組みを中心に—

講師 東京子ども図書館 小野寺 愛美 氏

①学校図書館とは

- ・学校図書館の3つの機能
- ・学校図書館運営に携わる人たち

②公益財団法人 東京子ども図書館とは

- ・設立までの歴史 家庭文庫が母体
- ・理念と実践 DVDによる活動紹介

③学校図書館での取り組み

- ・東京学芸大学附属大泉小学校での実践紹介
学校図書館「マルチメディア室」
図書の日 教員と学校司書が協働して、読書指導や利用指導を行う
教科学習の支援
環境整備 理念の共有

④子どもの読書について

- ・読書とは 一つひとつのことばを受け止め、ことばが語る世界を心に描くこと
読書によって語彙力が増え、コミュニケーション力が養われることは人間性を育むことになる
- ・字が読める＝本が読めるではない
「耳で聞く」読書のすすめ
子どもの興味の先に、本の世界の広がりを見せる
- ・ブックリストの活用

読み聞かせの紹介 「お月さまの話」
絵本から物語への移行期でのブックトーク



参加者の声

- ボランティア活動からどんどん広がっていくご縁、そして地域や子どもたちの関わりなど本当に勉強になりました。
- 資料の整理や館内の整備など大変参考になるお話がたくさん聞けて良かったです。これから利用者の目線に沿った図書館づくりをしていきたいです。
- 子どもたちの「幸せ」作りのために私にできることを図書館や本の力を借りてやっていけたらと思います。
- 東京子ども図書館の理念と実践を学校図書館にもというお話が実にしっくりきました。理想と現実の差がはっきりしつつも、理想が現実になっている東京子ども図書館の様子を見て、微力ながら、これからも読み聞かせを頑張ろうと思いました。
- 子どもたちへ本を届けることの大切さや喜びを感じることができる立場にいることを改めてうれしく思いました。